事業所名 グループホーム照葉

作成日： 令和 5年 3月 19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	頻繁に離接をする可能性が高い（離接をしたことがある）入居者様がおり、安全面を考慮すると、玄関の施錠が必要な状態にある。	安全面を考慮し、玄関を施錠しない暮らしが提供できる。	全体スタッフミーティングや運営推進会議で玄関の開錠に向けた取り組みを検討していく。	12ヶ月
2		文書伝達や必要な資料等を職員が学ぶ機会として回覧するなどを設けているが、サインを頂くのみで終わっている。日頃の職員間でのコミュニケーションだけでなく、提供した資料や文書伝達から職員の考えや思い、感想なども、管理者は把握することも課題である。	文書伝達や資料回覧等がある時には、職員より毎回必ずコメントをもらうようにし、職員の思いや考え、感想などを管理者は把握をする。	文書伝達・資料回覧コメント用紙を作成し、職員へ伝達。文書伝達や資料回覧時にはコメント用紙を出し、全職員へ簡単にコメントを記載してもらい、管理者は職員の思いや考えを把握する。またそれを回覧した物と共に保管をする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。